

平成 27 年度第 2 回学校協議会実施報告

実施日時：平成 28 年 1 月 26 日（火）午後 2 時～ 4 時 30 分

実施場所：本校校長室

学校協議会委員出席者（五十音順）

塩見委員、柴田委員、田中委員、田峰委員、長澤委員、春山委員、
事務局出席者

松浦（校長）、門田（教頭）、富澤（事務長）、藤井（首席）

川村（首席・2 年学年主任）、中村（教諭・1 年学年主任）

奥村（教諭・共生推進教室）

I. 次第（午後 2 時 20 分より 3 時 10 分まで 6 限目の授業見学ののち）

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員の紹介及び事務局の自己紹介
- (3) 本校の現状報告（校長、藤井）
 - ・平成 27 年度学校経営計画について
 - ・平成 27 年度学校教育自己診断の結果について
- (4) 保護者からの意見について
- (5) 質疑・応答

内容

<挨拶>

校長より 第 1 回協議会以降の状況について

<現状報告>

- ・27 年度学校経営計画の進捗状況について説明（校長）
- ・平成 27 年度学校教育自己診断の結果について（藤井首席）

<委員からの質問・意見>

委員

○自己診断において保護者の満足度が低いのは、学校の経営が保護者に伝わっていないからではないか。

事務局

- ・必要な情報は、年間 9 回定期的に郵送している。

委員

○自己診断の結果を、個々の教員にはどのように還元しているのか。

事務局：

- ・生徒に授業アンケートを年間2回実施している。また、年間2回、時期をきめて教員相互の授業見学を行い、研修も行っている。

委員：

○授業見学に加えて、授業アンケートのポイントも考慮すれば良い。見学の際も、何をポイントにして見学するのかを事前に決めておくべきだ。

委員

○生徒の自尊感情や自己有用感を高めるために、学校はどのような取り組みをしているのか。

事務局：

- ・普通科総合選択制アンケートの結果では、本校の生徒満足度は年々向上している。エリアの授業などで発表の機会を増やしたり、つばさコレクションでステージ発表をしたりする効果だと考えている

委員

○次年度の計画を立てるにあたって、どのような取り組みを進めていけばよいのかについて提言がある。民間でもそうだが、やはりポイントの低い項目の数値を上げていくことに力を注ぐべきだ。ポイントの低いところにお金をかけたり、外部人材の力を借りたりすればよい。

事務局：

- ・普通科総合選択制アンケートの結果では、本校の生徒満足度は年々向上している。エリアの授業などで発表の機会を増やしたり、つばさコレクションでステージ発表をしたりする効果だと考えている

委員

○先ほど、生徒の基礎学力が秋には上がり、春には下がるというサイクルを繰り返すという話があったが、なぜか。

事務局：

- ・春休みが一つの原因。本校の生徒は、学校では学習に取り組んでいるが、家庭での学習が身につけていない。そのため、春休みの1か月間、一度も机に向かわないという生徒もいる。この空白の1ヶ月が春に学力の下がる原因だと考えている。学習習慣をつけるための方策を次年度は考えていきたい。

<その他>

○保護者からの意見・・・なし

○次回の協議会について（校長より）・・・

1か月しかあかないが、2月26日に実施したい。また日程調整をさせてもらう。